



2025年3月期第3四半期 決算説明資料

東京製鐵株式会社

(東証プライム:5423)

アウトライン



- 2025年3月期第3四半期決算報告
- 2 2025年3月期 業績予想
- 3 参考情報
 - 4 株主還元について

決算ハイライト



- 2025年3月期 第3四半期
 - ・売上高:2,547億円、営業利益:235億円(前年比で減収減益)
 - ・製品出荷数量:225.3万トン(うち輸出32.5万トン)
 - <u>・10月契約の建値値下げを受けて、製品出荷価格は下落したものの、鉄スクラップ購入価格が想定を下回ったことなどから、計画を上回って着地。</u>
 - ・台風で遅延していた製品出荷量は回復。製品・原料の評価損も縮小した。
- 2025年3月期 通期予想
 - ・売上高:3,230億円、営業利益:280億円(前年比で減収減益)
 - ・第3四半期の業績を受けて通期業績予想を上方修正。
 - ・中国からの積極的な鋼材輸出や、国内建設案件の工期遅れに伴う鋼材需要の伸び悩みなどが懸念材料。





2025年3月期第3四半期決算報告



4

- ・2024年10月25日公表の通期業績予想を上回る進捗率で着地。
- <u>・10月契約の建値値下げを受けて、製品出荷価格は下落したものの、鉄スクラップ購入価格が想定を下回ったことから、メタルスプレッドは改善。</u>
- ・台風で遅延していた製品出荷量の回復、製品・原料の評価損縮小も収益を押し上げた。

	2024年3月期				2025年3月期						
(億円)	1Q	2Q	3Q	1Q-3Q 累計	1Q	2Q	3Q	1Q-3Q 累計	通期計画 (10/25 公表)	進捗率	
売上高	1,027	863	874	2,766	939	803	804	2,547	3,080	82.7%	
営業利益	122	92	86	301	96	42	95	235	240	98.0%	
経常利益	129	95	88	313	102	46	99	248	250	99.3%	
当期純利益	88	67	65	221	65	32	70	168	165	102.2%	

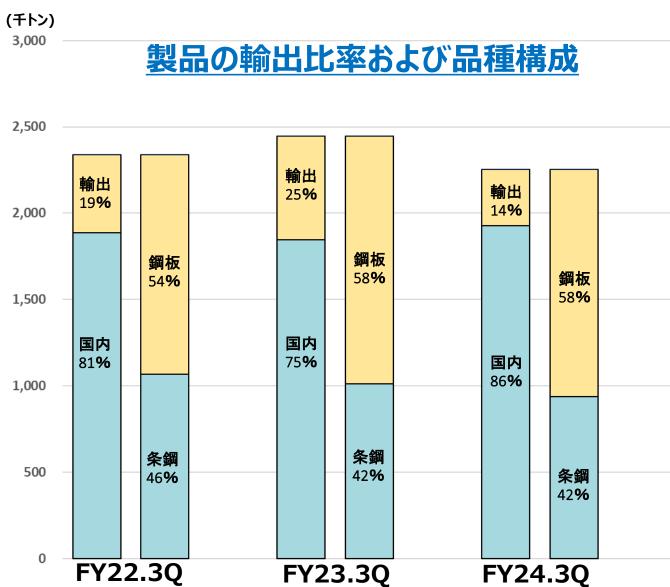
前期比で赤字は増 青字は減

累計期間

製品出荷量の推移



製品	FY22.3Q	FY23.3Q	FY24.3Q	
	累計期間	累計期間	累計期間	
国内	1 007	1 0/17	1 027	
(千トン)	1,887	1,847	1,927	
販売単価	117.2	114.7	110.6	
(千円)	117.2	114.7	110.6	
輸出	453	598	325	
(千トン)	733	396	323	
販売単価	102.0	95.3	97.1	
(千円)	102.0	95.5	97.1	
合計	2 240	2 445	2 252	
(千トン)	2,340	2,445	2,253	
販売単価	114.3	110.0	108.7	
(千円)	114.5	110.0	108.7	
粗鋼生産量	2 571	2 702	2 444	
(千トン)	2,571	2,702	2,444	
鋼材生産高	2 360	2 504	2 222	
(千トン)	2,369	2,504	2,222	



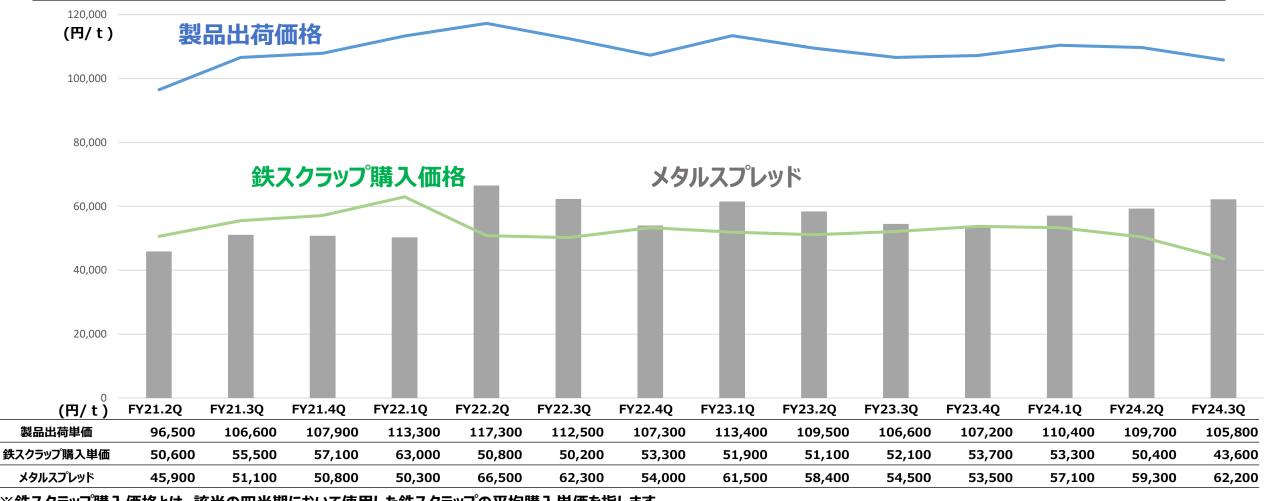
累計期間

累計期間

製品出荷価格・鉄スクラップ購入価格・メタルスプレッドの推移



当第3四半期では、当2Q比で製品出荷価格が下落した一方で、鉄スクラップ購入価格が大幅に下落した結果、メタルスプレッドは約2,900円/tの改善となった。



[※]鉄スクラップ購入価格とは、該当の四半期において使用した鉄スクラップの平均購入単価を指します。

営業利益増減要因



2025年3月期3Q(計画)→2025年3月期3Q(実績)

※営業利益は数値を丸めています。 (百万円)

> メタル スプレッド +4,263

数量 +568

コスト +569

評価差 +1,000

受払損 **▲1,800**

	FY24.3Q 計画	FY24.3Q 実績	比較	
数量(t)	660,000	735,000	75,000	
売上単価(円/t)	101,400	105,800	4,400	
スクラップ単価(円/t)	45,000	43,600	-1,400	
スプレッド(円/t)	56,400	62,200	5,800	
営業利益(百万円)	5,000	9,600	4,600	

9,600

FY24.3Q

計画

5,000

FY24.3Q 実績

営業利益増減要因



2024年3月期3Q累計期間(実績)→2025年3月期3Q累計期間(実績)

(百万円) ※営業利益は数値を丸めています。

メタル スプレッド +2,478 数量 ▲2,378

コスト ▲3,200

評価差 ▲600

受払損 ▲3,000

30,200

	FY23.3Q 実績	FY24.3Q 実績	比較
数量(t)	2,445,600	2,253,000	-192,600
売上単価(円/t)	110,000	108,700	-1,300
スクラップ単価(円/t)	51,700	49,300	-2,400
スプレッド(円/t)	58,300	59,400	1,100
営業利益(百万円)	30,200	23,500	-6,700

FY23.3Q 実績 FY24.3Q 実績

23,500

p9

CARBONMINUS × UPCYCLING EcoVision 2050

2025年3月期2Q(実績)→2025年3月期3Q(実績)

(百万円) ※営業利益は数値を丸めています。

営業利益増減要因

メタル スプレッド +2,131

数量 +222 コスト +1,047 **受払損** ▲600

評価差 +2,600

9,600

4,200

FY24.2Q 実績

	FY24.2Q 実績	FY24.3Q 実績	比較
数量(t)	698,000	735,000	37,000
売上単価(円/t)	109,700	105,800	-3,900
スクラップ単価(円/t)	50,400	43,600	-6,800
スプレッド(円/t)	59,300	62,200	2,900
営業利益(百万円)	4,200	9,600	5,400

FY24.3Q 実績





2025年3月期 業績予想

2025年3月期業績予想



- ・第3四半期の業績を受けて通期業績予想を上方修正。
- <u>·FY23通期→FY24通期は、メタルスプレッドが改善するものの、製品出荷量の減少とコスト</u> 増などによって減益見込み。
- ・当3Q→当4Qは、製品出荷量の減少とメタルスプレッドの縮小などによって減益見込み。

	2024年3月期実績			2025年3月期予想			2025年3月期予想		
				(10/25見直)			(1/24見直)		
(億円)	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期	通期	上期 (実績)	下期	通期
売上高	1,891	1,780	3,672	1,742	1,330	3,080	1,742	1,480	3,230
営業利益	215	165	380	139	100	240	139	140	280
経常利益	224	172	397	148	100	250	148	140	290
当期純利益	156	123	279	98	65	165	98	90	190

10/25見直比で赤字は増 青字は減

営業利益増減要因



2024年3月期通期実績 →2025年3月期通期計画

(百万円) ※実績の営業利益は数値を丸めています。

> メタル スプレッド +4,991

数量 **▲3,828**

コスト

受払損 **▲3,000**

▲8,163

38,000

	FY23.通期 実績	FY24.通期 計画	比較	
数量(t)	3,265,000	2,936,000	-329,000	
売上単価(円/t)	109,300	106,800	-2,500	
スクラップ単価(円/t)	52,200	48,000	-4,200	
スプレッド(円/t)	57,100	58,800	1,700	
営業利益(百万円)	38,000	28,000	-10,000	

28,000

FY23.通期 実績

FY24.通期 計画

営業利益増減要因



2025年3月期3Q(実績)→2025年3月期4Q(計画)

(百万円) ※実績の営業利益は数値を丸めています。

EV24 20
FY24.30
中々主
実績
→ 13€

	FY24.3Q 実績	FY24.4Q 計画	比較
数量(t)	735,000	683,000	-52,000
売上単価(円/t)	105,800	100,500	-5,300
スクラップ単価(円/t)	43,600	43,900	300
スプレッド(円/t)	62,200	56,600	-5,600
営業利益(百万円)	9,600	4,600	-5,000

4,600

FY24.4Q 計画





参考情報

統合報告書2023-2024を発行

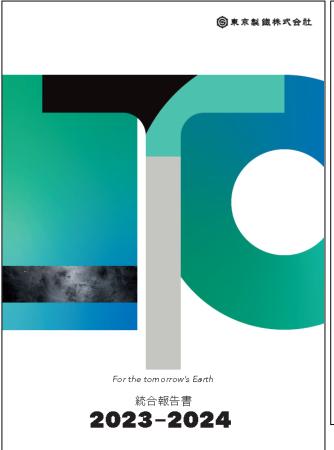


p15

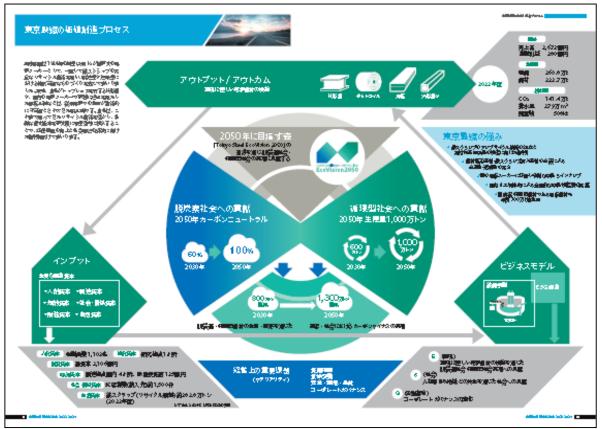
●2024年11月29日公表

統合報告書2023-2024を発行

最新の顧客企業との協働やTNFD関連など、非財務情報の開示充実化をはかった。







「プラチナ大賞」の優秀賞を受賞

CARBONMINUS × UPCYCLING
ECOVISION 2050

p16

●2024年11月14日公表

プラチナ構想ネットワークより「プラチナ大賞」の「優秀賞(アップサイクル賞)」を受賞

ベンチャーEVメーカー「株式会社FOMM」との協働で進めた「アップサイクルカー・プロジェクト」の取り組みが評価されたもの。





キヤノン株式会社のプリンティング製品に当社鋼板が採用



●2025年1月17日公表 キヤノン株式会社のプリンティング製品に当社鋼板が採用

<u>キヤノン株式会社が2025年に発売する新製品の一部に、当社の電炉鋼板が採用。</u> 使用済み複合機から分別した鉄スクラップの資源循環を促進。



製品に使用する再生鉄(加工前)





キヤノンエコロジーインダストリーが回収した複合機から取り出した鉄 (左:銅が付いた状態の鉄、右:純度99%に分別した鉄)

写真提供:キヤノン株式会社

©2025 TOKYO STEEL MANUFACTURING Co., Ltd. All Rights Reserved





株主還元について

株主還元について



- ・4/26取締役会で、自己株式10億円の取得および自己株式の消却を決定し、実施した。
- ・7/26取締役会で、100億円を上限とする自己株式の取得を決定し、買い付けを実施中。想定される配当、実施済みの自己株式の取得と併せて総還元性向は約81%となる見込み。
- ・今回の第3四半期決算を受けた配当金の見直しは実施しない。

	FY17実績	FY18実績	FY19実績	FY20実績	FY21実績	FY22実績	FY23実績	FY24予想
中間配当	5.0円	6.0円	7.0円	8.0円	10.0円	20.0円	25.0円	25.0円
期末配当	5.0円	7.0円	8.0円	8.0円	15.0円	20.0円	25.0円	25.0円
年間配当	10.0円	13.0円	15.0円	16.0円	25.0円	40.0円	50.0円	50.0円
自己株式買取総額	1,985百万円	3,877百万円	11,778百万円	2,000百万円	5,710百万円	3,499百万円	3,756百万円	10,000百万円
配当性向	12%	11%	14%	33%	9%	14%	20%	28%
総還元性向	30%	36%	99%	66%	27%	26%	33%	81%

● 自己株式の消却

① 消却した株式の種類:当社普通株式

② 消却した株式の数: 45,000,000株

③ 消却日: 2024年5月10日

※消却後の発行済株式総数: 110,064,249株

● 自己株式の取得

① 取得する株式の種類: 当社普通株式

② 取得する株式の数: 6,800,000株(上限)

③ 株式取得価額の総額:100億円(上限)

④ <u>取得する期間</u>: 2024年7月29日から

2025年6月30日まで

今後の株主還元方針



当社の属する普通鋼電炉業界の大きな特色は、装置産業かつ市況産業であることであります。業界のなかで最新の生産技術を保持し、高い生産性と競争力を維持しつつ成長を続けるためには、適切なタイミングにおいて、設備の更新を慎重かつ大胆に実行していく必要があります。市況産業故に業績が景気変動に大きく左右されやすいなかで、投資を自己の判断により的確に行っていく上で内部留保は極めて重要であり、株主の利益を長期的に確保することに繋がるものと考えております。

上記の考え方に基づき、当社は将来に資する設備投資を推進し、生産性と競争力を一層向上させることで、高い利益水準を達成しつつ、これをもって、配当や自己株式取得による株主還元を実施してまいりました。今般、この方針をより明確にすることとし、当社の今後の利益配分につきましては、原則として、総還元性向を25%~30%とすることを目指してまいります。

今後も株主還元方針に基づき、 安定的な配当の実施、機動的な自己株式の取得を実施してまいります。



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではなく、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含みます。したがいまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。